

きぼう

ひかり
～光～

静岡県立吉原高等学校 PTA新聞

編集 振学広報委員会

「光」輝く未来へ

校長 佐田 恵子

今年の本校の学校祭では、生徒たちが「ステラ」というテーマを掲げました。ラテン語で「星」を意味します。星は、夜空を照らす光であり、遠く離れていても、その輝きは、私たちの心に希望を与えてくれます。まさに「光」の象徴と言えるでしょう。

学校は、生徒一人ひとりが自分の未来を見つけ、自らを輝かせる場所です。夜空に散らばる星のように、個性豊かな生徒たちがそれぞれの「光」を放ち、大きな輝きを生み出していく—それが学校に通う意義であり、学校でしか得られない学びの価値だと考えます。もちろん、学校生活の中では、時に困難や迷いに直面することもあるでしょう。しかし、そうした日々の中で見つけた小さな光こそが、生徒にとっての希望となり、やがてその未来を明るく照らしてくれるはずです。

本校では、授業や行事、部活動、地域との関わりなど、多様な体験を通して、知識や経験という「光」を育む機会を大切にしています。教職員一同、生徒とともに学び、成長する姿勢を持ち続けながら、力強く支援を行っています。また、保護者の皆様が家庭で注いでくださる温かな光も、生徒たちの成長に欠かせません。今後とも、学校と家庭が一体となって、生徒たちの未来を明るく照らしていけますよう、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



「光」

副校長 吉川 昭宏

小学生の頃、学校が終わり家に帰ると、夕方から始まる「機動戦士ガンダム」の再放送を見る事が何よりの楽しみでした。第一話でアムロの乗るガンダムがザクをビームサーベルで一刀両断するシーンを見たとき、「あの光る棒は何だ!?!」「こんなものが本当にあったら・・・」と子供ながらに思いを馳せたものです。

光る剣といえば、スター・ウォーズのライトセーバーも忘れてはいけません。箒の柄をライトセーバーに見立てて、チャンバラごっこをよくしたものです。

映画の中だけの話と思われていた『光る剣』というこの技術は、世界中の多くの研究者が実現に向けて研究を重ねてきた技術でした。そして遂に10年程前、米マサチューセッツ工科大学とハーバード大学の研究チームが、光を構成する光子同士が引き合い、分子を形成する現象を発見したと米科学誌「サイエンス」で公表し、科学界を驚かせました。つまり、光どうしをくっつけてライトセーバーのような性質を持つ光をつくることに成功したのです。子供の頃の「こんなものがあつたらいいな」という夢が、探求心と努力によって実現し得ることを教えてくれます。

今、高校では生徒たちが身の回りにある「あつたらいいな」や課題に対し自ら問いを立て、様々な手法を用いて主体的に解決へと向かう学びが進められています。いわゆる『探究学習』です。本校でも「吉高ゼミ」という名のもと、多様なプログラムを通して課題解決スキルを身につける学びが進行中です。こうした学びの積み重ねが、まだ見ぬ未来を創っていく原動力になると信じています。未来に夢と情熱を持ち続け、自らの問いに挑み続ける吉高生が、やがて社会を照らす「光」となることを願ってやみません。



「光」

教頭 武田 孝之

教員という仕事をしていると、ふとした瞬間に「光」を感じることがあります。

教室のカーテンの隙間から差し込む、朝の光のようなさりげない優しさ。友人の些細な変化に気が付き、そっと声をかける生徒の姿。放課後の教室や、部活動の終わりに、仲間と交わす笑顔。

教室に降り注ぐ昼の光のような、強い決意。自分の進路に悩みながらも、一步踏み出そうとする眼差し。

誰もいない教室に映る真っ赤な夕日の光のように、明日へつながる誓い。友との別れに哀しみながらも、友情を確かめあい、再会を誓う涙。

その一つ一つが、教員の私にとっては紛れもない「光」です。

行事の準備で遅くまで残り、より良いものを作ろうとする生徒達の粘り強さ。悔しさに涙しながらも立ち上がる姿。仲間を思いやる心。これらは強い光として周囲を照らし、私たち大人も勇気をもらいます。

しかし、光は時に見えづらいものもあります。昼間の空、都会の夜でも星は同じように存在しています。輝いています。しかし、強い光によって、見えづらくなっています。教室の片隅で静かに過ごす生徒の中にも、目立つ舞台に立たなくてもひた向きに一步一步進む生徒の中にも、もの静かでいつも控えめな生徒の中にも。確かな「光」が宿っています。光っていないのではない、そこにある確かな大切な「光」。

私たち教員は、控えめに光る光にもしっかりと目を向け、「気が付いているよ」と声をかけ、そっと磨き、時に背中を押す役目も担っていると思っています。

保護者の皆様とともに、生徒の光が迷わず未来を照らしていけるよう寄り添っていきたいと思っています。



PTA会長 望月 崇史

冬が近くなり、日が暮れるのが早くなってくると、学校からの帰り道、街灯のあかりがぽつぽつと続いているのが見えます。空には星が光り始め、家々の窓からも温かな光が漏れています。そんな景色を眺めていると、どこか安心した気持ちになれるのではないのでしょうか。

このように、「光」とはただ物理的な明るさというだけではなく、心の中に差し込む希望や優しさの象徴でもあります。落ち込んでいた時、友だちのかけてくれた一言。失敗して悔しかった部活の帰り道、先生がそっと肩をたたいてくれたこと。そうした日々の小さな出来事が、暗闇の中にある「光」のように、前へと導いてくれるものだと思います。

現代は、ニュースを見てもSNSを見ても不安になるような出来事が次々に目に飛び込んできます。だからこそ、意識して私たち一人ひとりが、誰かにとっての「光」となるようにし「光」を探し、誰かにとっての「光」になれるよう行動していくことを大切にしたいと思います。

PTAの活動においても生徒の皆さんの学生生活で少しでも「光」を見つけるお手伝いをするべく、保護者、先生、地域の皆様のお借りしつつ活動しておりますが、コロナ禍を経て活動にも変化が出ておりますので、様々なご意見やアイデアを取り入れながら、無理のない活動にしていきたいと思います。その中で、吉原高校が地域の「光」となれるよう助力ができればと考えています。

PTA副会長 栗田 穂

吉原高校には三人の子供全員が通い、そのうち二人はすでに卒業し、三人目も今年で三年生になりました。三年前副会長になった時、私に役が務まるのかと正直不安に思いましたが、これまで子供達がお世話になったこの学校に少しでも恩返しができると思い、精一杯努めてきました。

子供達は、まさに希望の「光」です。無限の可能性を秘め、毎日をまっすぐ生きるその姿には大人である私たちの心を照らす導きでもあります。私たちのPTA活動もまた、子供達の成長をそっと照らす「光」でありたいと願っています。それは強くまぶしい光ではなく、ろうそくのようにあたたかく静かに寄り添う光です。もちろん、活動の中では影や迷いもあります。しかし、影があるからこそ光が映えるように、困難の中にも学びやつながりが生まれると信じています。保護者同士が支え合い、先生方と協力しながら子供達にとってより良い環境を築いていければと思います。

皆様のお力をお借りしながら無理のない範囲で楽しく、あたたかな活動を進めてまいります。

中学時代をコロナ禍で過ごしたため、イベント等はほとんど縮小され、まともに学校行事を楽しむことができなかつた子供にとって高樓祭は、友達と一緒に何かを作ったり、みんなでワイワイと盛り上がり準備している姿が、とても嬉しく感じられました。当日も、色とりどりの飾りつけに賑やかな声が聞こえ、高校生らしい活気に満ちた空間でした。親として、支えてあげられることは少なかったかもしれないけれど、自分たちの力で楽しんでいる姿は本当に感慨深かったです。

最後になりますが、今後ともPTA活動へのご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

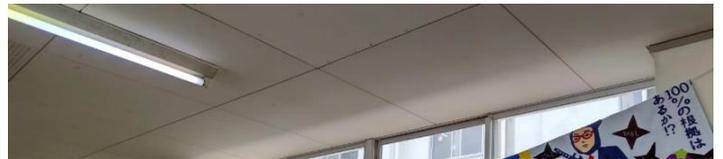
PTA執行部役員



上段左から 藤巻麻美 山本英子 佐藤寛之 杉本れい

下段左から 栗田穂 望月崇史

令和7年度 高樓祭 6月6日、7日 文化の部





令和7年度 高樓祭 6月9日 体育の部





専門部の紹介

学校行事委員会

学校行事委員会の主な活動内容は、6月に行われる高樓祭での受付・校内巡回と2月に行われる長距離走大会での走路員補助です。

今年度の高樓祭では、執行部役員で受付を担当し、行内巡回においては各学年の学校行事委員会の保護者

の皆様にご協力頂き、無事に終わることが出来ました。PTA活動を通じて、生徒達のたくさんの努力、協力する姿、楽しそうな様子を近くで見ることができ、大変嬉しく思います。

長距離走大会におきましても、学校行事委員会の保護者の皆様にご協力頂き、無事に終わられる様、引き続きサポートしていきたいと思ひます。

今後も、PTA活動へのご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

学校行事委員会委員長 丸山朱里

学年委員会

学年委員会の主な活動は、「新1年生保護者対象地区会」の運営です。お子さんの入学が決まった保護者の方にとって、初めてPTAと関わる行事であり、役員選出や連絡網づくりなど、今後の活動につながる大事な場でもあります。各地区の評議員さんと連携をとりながら、スムーズな進行を目指して準備を進めていきます。委員会での活動は一人ではなく、皆で話し合い協力しながら取り組んでいきます。

新1年生の保護者の皆様にとっては、PTA活動への第一歩となる大切な行事です。少しでも安心して参加してもらえよう、進行や説明に気を配りながら準備を進めていきたいと思ひます。活動の際には、御参加・ご協力の程宜しくお願ひ致します。

学年委員会委員長 諸星朋子

振学広報委員会

振学広報委員会の主な活動は、PTAだより「きぼう」の発行が中心となります。

今年5月に1年生の保護者の皆様に集まっていただき、原稿依頼の宛名書きを行いました。

高樓祭の文化の部では、生徒たちの楽しそうな姿やステージ発表、体育の部では、元気で生き生きとした様子を掲載することが出来ました。

また、今年度より紙面にせず、吉原高校のホームページからPTAだよりが見られるようになりました。

皆様のご協力のもと、無事に発行出来た事をお礼申し上げます。今後もPTA活動へのご理解とご協力の程よろしくお願ひいたします。

振学広報委員会委員長 木島和美

